

北方研究教育センターフォーラム  
「それぞれのロシア：20世紀北東アジアに生きた人々の語りと記録」

日時：2013年7月6日(土) 10:00-17:45

場所：北海道大学古河記念講堂 109

開会挨拶 10:00-10:10

セッション1「社会主義時代の北東アジア諸民族の日常生活」10:10-12:00

司会：呉人 恵（富山大学）

永山 ゆかり（北海道大学）「アリュートル人の語りに見る社会主義体験」

丹菊 逸治（北海道大学）「ニヴフロ承文学の語り手たち」

滝口 良（北大文学研究科専門研究員）

「となりのロシア人：社会主義モンゴルにおける市民の商取引と在留ロシア人の関係」

セッション2「北東アジア少数民族の語りの記録」 13:15-14:30

司会：永山 ゆかり（北海道大学）

津曲 敏郎（北海道大学）「少数民族言語による自分史と民族史：沿海州ウデヘ人の筆記資料から」

呉人 恵（富山大学）「トナカイ遊牧民コリヤークたちの語りと言語民族誌」

セッション3 「ロシアを出たロシア人たち」14:45-17:45（休憩 16:00-16:15）

司会：諫早 勇一（同志社大学）、望月 恒子（北海道大学）

澤田 和彦（埼玉大学）「ハルビンのロシア語雑誌『ルベージュ』について」

望月 恒子（北海道大学）「在外ロシア文学の「東方の枝」について」

イリーナ・メリニコワ（同志社大学）（ロシア語使用、通訳つき）

“А. Н. Вертинский и его песни - о мостах между русской и советской культурой”

「ヴェルチンスキーと彼の歌—ロシア文化とソヴィエト文化の懸け橋」

主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

懇親会 18:30～（北大近くの居酒屋を予定しています）